

米国サブプライムローンに関する当社への影響について

米国サブプライムローン問題に関する当社の状況について、以下のとおりお知らせいたします。

1. 運用資産に与える影響

当社が現在運用資産として保有する資産のなかには、米国の信用力の低い個人向け住宅融資（サブプライムローン）関連の資産はありません。よって、今中間決算においてもサブプライムローン関連の売却損・評価損などは一切発生していません。

2. 金融保証保険

(1) 引受け状況

当社は、新種保険の一種である金融保証保険の枠組みでCDO（債務担保証券）の元利金支払いを保証する業務を行っております。

当社が行っているCDO保証は、CDO全体を保証するものではなく、優先的に元利金の返済を受けられる優先部分に限定して保証を行っており、その格付けは、現時点でもすべてAAAです。これは、CDOが元利金支払の順位によって優先的に返済される部分（AAAなど）から、返済が最後に回される部分（エクイティなど）まで、格付けによって切り分けられて投資家に販売される構造（優先劣後構造）を有しており、当社が保証している優先部分の全てに、相当な劣後部分が確保されているためです（添付の別紙をご参照ください）。

当社が保証しているCDOは、多数分散された高格付けのMBS（住宅ローン担保証券・CDOと同様に優先劣後構造）を裏付資産として構成されておりますが、裏付資産のMBSの中にサブプライムローンが一部でも含まれているCDOに対する保証金額の合計は2,400億円となっております。

なお、当社が保証しているCDOの裏付資産の格付分布は、直近でAAA（28.8%）、AA（42.7%）、A（17.7%）、BBB以下（10.8%）となっております。

(2) リスク認識

当社が保険金を支払う場合としては、個々のサブプライムローンのデフォルトが増加することで裏付資産のMBSが毀損し、最終的にCDOにおいて、当社の保証する優先部分の下にある劣後部分を超える損失が発生する場合があります。なお、金融保証保険は、CDOや裏付資産のMBSの市場価格の下落による損失を保証するものではありません。

現時点において、保証保険の支払い事故は一切発生しておりませんが、サブプライムローン問題の動向は流動的であることから、今後さらにサブプライムローンの実際の延滞・デフォルトが相当程度進行した場合、劣後部分を費消して保険事故が発生する可能性も否定できません。

個々のCDOについて精査の結果、支払い可能性のある金額は、300億円程度と考えております。

以上

CDOの仕組み

<個々のMBS（住宅ローン担保証券）>

住宅ローン（数千件程度）を束ねた証券化商品

元金支払の順位によって優先的に返済される部分（AAAなど）から返済が最後に回される部分（エクイティなど）まで、格付けによって切り分けられて投資家に販売

<CDO（債務担保証券）>

MBS（数百件程度）を束ねた証券化商品

元金支払の順位によって優先的に返済される部分（AAAなど）から返済が最後に回される部分（エクイティなど）まで、格付けによって切り分けられて投資家に販売

MBS裏付資産		
住宅ローン	住宅ローン	AAA
住宅ローン	住宅ローン	
住宅ローン	住宅ローン	AA
住宅ローン	住宅ローン	A
住宅ローン	住宅ローン	BBB
住宅ローン	住宅ローン	BB
住宅ローン	住宅ローン	エクイティ

MBS裏付資産		
住宅ローン	住宅ローン	AAA
住宅ローン	住宅ローン	
住宅ローン	住宅ローン	AA
住宅ローン	住宅ローン	A
住宅ローン	住宅ローン	BBB
住宅ローン	住宅ローン	BB
住宅ローン	住宅ローン	エクイティ

CDO裏付資産			
MBS (AAA)	MBS (AAA)	AAA (スーパーシニア)	
MBS (AAA)	MBS (AAA)		
MBS (AAA)	MBS (AAA)		
MBS (AA)	MBS (AA)		
MBS (AA)	MBS (AA)		
MBS (AA)	MBS (AA)		
MBS (AA)	MBS (AA)		
MBS (AA)	MBS (AA)		
MBS (A)	MBS (A)		AAA (スーパーシニア・ジュニア)
MBS (A)	MBS (A)		
MBS (A)	MBS (A)		
MBS (A)	MBS (A)		
MBS (A)	MBS (A)		
MBS (BBB)	MBS (BBB)	AAA	
		A	
		BBB	
		BB	
		エクイティ	

当社が保証している
優先部分

同様の仕組みの
CDOを複数保証

保証金額の合計
2400億円

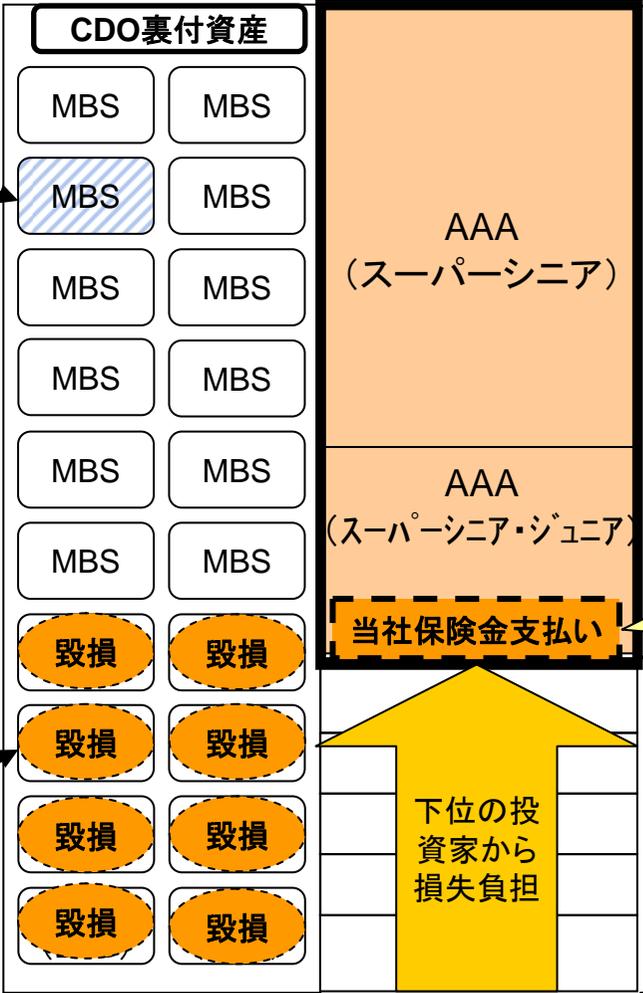
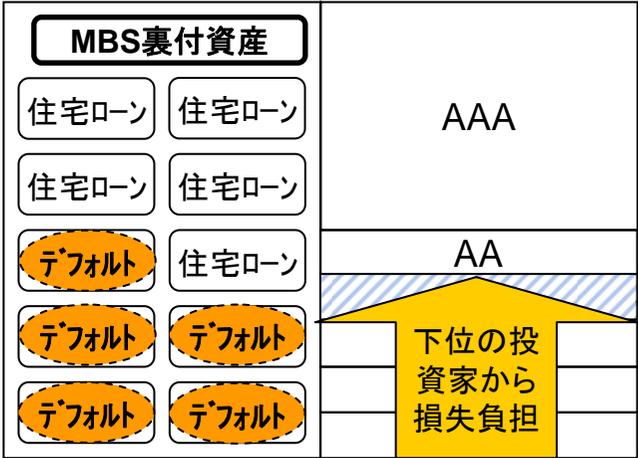
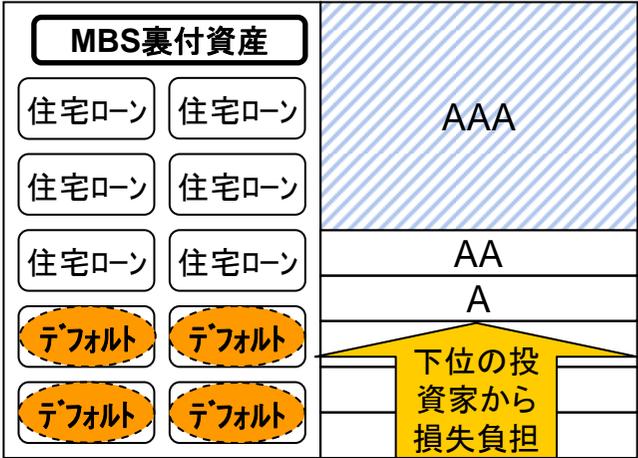
元のMBSに一部でも
サブプライムローンを含む
CDOの保証

劣後部分

保険事故(保証保険金支払い)となる事例

<個々のMBS (住宅ローン担保証券)>

<CDO (債務担保証券)>



当社が保証している
優先部分

支払い可能性の
ある金額合計
300億円程度

劣後部分